教　育　委　員　会　会　議　録

（　定　例　会　）

令和６年８月２２日開催

さいたま市教育委員会

1	期　　　　　日	令和６年８月２２日（木）	
2	場　　　　　所	教育研究所　５階研修ホール	
3	開　　　　　会	午後２時００分	
4	出　席　委　員	教　　　育　　　長	竹　居　秀　子
		教育長職務代理者	大　谷　幸　男
		委　　　　　　　員	石　田　有　世
		委　　　　　　　員	堀　田　香　織
5	欠　席　委　員	委　　　　　　　員	伊　藤　華　英
		委　　　　　　　員	小　山　和　也
6	議場に出席した者	副教育長	栗　原　章　浩
		管理部長	中　村　和　哉
		学校教育部長	野　津　吉　宏
		生涯学習部長	佐　野　公　子
		中央図書館長	杉　本　達　洋
		学校教育部参事兼教職員人事課長	寺　内　啓　容
		学校教育部参事兼生徒指導課長	青　木　　貴
		学校教育部参事兼高校教育課長	大　原　照　光
		生涯学習部参事兼資料サービス課長	中　島　孝　一
		教育総務課長	小　出　博　康
		教育財務課長	野　口　秀　俊
		学校施設整備課長	田　嶋　真　二
		教育課程指導課長	猪　鼻　孝　之
		特別支援教育室長	紺　野　雅　弘
		おいしい給食サポート課長	小　山　敏　明
		浦和高等学校長	神　田　剛　広
		浦和南高等学校長	相　坂　賢　将
		大宮北高等学校長	根　岸　君　和
		大宮国際中等教育学校長	関　田　　晃
7	会議録署名委員	堀　田　香　織	

８　議事等の概要

竹居教育長　　　　それでは、ただいまから教育委員会会議を開会いたします。
本日は、傍聴を希望する方は、いらっしゃいますか。

書記　　　　　　　１名おります。

竹居教育長　　　　本日は、会議の傍聴を希望する方がいらっしゃいますが、許可してよろしいでしょうか。

各委員　　　　　　<異議なし>

竹居教育長　　　　それでは、傍聴を許可します。
本日の会議録の署名委員は、堀田委員にお願いいたします。
本日の議案のうち、議案第６４号は取下げになったことを御報告いたします。
会議の公開については、報告第６号は議会に関する案件、議案第６５号は人事に関する案件であることから、非公開とすることをお諮りしたいと思いますが、委員の皆さんいかがでしょうか。

各委員　　　　　　<異議なし>

竹居教育長　　　　それでは、出席委員全員の賛成をいただきましたので、報告第６号、議案第６５号は非公開といたします。
会議の順番ですが、議案第５９号から第６３号、議案第６６号、続いて、非公開となる報告第６号、議案第６５号の順番で審議することといたします。また、議案第６０号から６２号は内容が関連しておりますので、所管課からの説明、質疑は一括して行うことといたします。

議案第５９号　さいたま市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

竹居教育長　　　　それでは議案第５９号について、事務局から説明をお願いします。

教育課程指導課長　それでは、議案第５９号、さいたま市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について御説明させていただきます。
お手元の議案書の１０ページの提案理由を御覧ください。

この議案の提案理由でございますが、まず第３条について御説明いたします。市立小・中学校ではこれまで、年間の授業日数を２０５日以上とし、学校の教育活動に余裕をもたせることで、児童生徒の豊かな学校生活を実現してきましたが、学習指導要領の改訂、児童生徒１人１台端末の整備、学校における働き方改革の推進等の教育環境の大きな変化を受けて、今後は、標準授業時数を超える余剰時数に頼らず、各学校がカリキュラム・マネジメントを充実することにより教育活動の質の向上を目指す必要があることから、さいたま市立小・中学校管理規則の所要の改正を行うものでございます。

なお、施行期日は令和７年４月１日からとなります。

続いて、別記様式について御説明いたします。８ページを御覧ください。さいたま市教育委員会公印規則において、割印の記載はないことから、卒業証書における押印を見直し、さいたま市立小・中学校管理規則の所要の改正を行うものです。

なお、施行期日は公布の日となります。

説明は以上でございます。御審議の程、よろしくお願いいたします。

竹居教育長　　何かありますか。

大谷委員　　これまで２０５日以上としていた授業日数について、今後何日以上は確保するといった最低ラインを設けるのでしょうか。あるいは、校長の自由裁量としてしまうのでしょうか。

教育課程指導課長　　現在のところ、２０５日に代わる新たな日数を設定する予定はございません。ただし、校長会と協議しながらその年ごとに必要な日数を検討していきたいと考えております。

大谷委員　　学習指導要領に定められた日数や時数がありますので、大きく上振れや下振れすることはないと思いますが、今後は、少し授業日数が減っていくということでしょうか。

教育課程指導課長　　委員御指摘のとおり、国では、小学校５年生を例にしますと、標準授業時数は年間１０１５時間という定めがあり、これを上回る時数で設定することになります。一方で、上限の目安として年間１０８６時間としておりますので、この範囲で設定していく予定でございます。

大谷委員　　１０１５時間から１０８６時間の範囲で設定するとのことですが、現状はいかがでしょうか。学校によって違うのでしょうか。

教育課程指導課長　　令和４年度実績ですと、さいたま市平均で１１５８時間となっており、大幅に上回っております。

大谷委員　　年間授業時数の決定にあたり、教育委員会で時数を定めるのか、あるいはある程度の幅を示して、あとは学校の実情に合わせる形にするのか、という点はいかがでしょうか。

教育課程指導課長　　現段階では、数字の最低ラインを設ける予定はございません。日数については、今後も校長会と協議を重ねていきたいと考えております。

竹居教育長　　授業時数が削減されることにより、教育の質の担保という点が保護者や地域の方々の気になる部分かと思います。現時点で、質の担保という観点で考えていることがございましたらお願いいたします。

教育課程指導課長　　教育の質の改善は日々行っているところでございます。例えば、今年度より指導訪問の内容を改善し、教育委員会幹部が学校に長く滞在すること、フォローアップの仕組みを考えること、学力向上ポートフォリオを用いた指導訪問などを行っております。さらに、来年度からは校長の学校運営をサポートするため、自己評価システムの改善や、単元計画表の作成、クラウドを活用したカリキュラムマネジメントシステムの構築などを考えており、学校を支えるシステムを向上させていきたいと考えております。

竹居教育長　　２０５日に設定した際にも、保護者や地域の方々に丁寧に説明をしてきたものと思いますが、今回の改正について、教育委員会としてどのように周知を図っていくか、御説明をお願いします。

教育課程指導課長　　家庭や育成会等については、代表の方に説明をしたいと考えております。各学校においても、校長から学校運営協議会を通して保護者や地域の方々に説明する予定でございます。

竹居教育長　　それでは、議案第５９号については、原案のとおりとしてよろしいですか。

各委員　　＜異議なし＞

竹居教育長　　　　出席委員全員の賛成により、議案第５９号は原案のとおり可決されました。
ここで事務局の入替えを行います。準備ができ次第、再開いたします。

議案第６０号　さいたま市立特別支援学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
議案第６１号　さいたま市立高等学校通則の一部を改正する規則の制定について
議案第６２号　さいたま市立中等教育学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

竹居教育長　　　　続いて、議案第６０号から第６２号について、事務局から説明をお願いします。

特別支援教育室長　それでは、議案第６０号、さいたま市立特別支援学校管理規則の一部を改正する規則の制定について御説明させていただきます。
お手元の議案書の１５ページの提案理由を御覧ください。
この議案の提案理由でございますが、卒業証書における押印見直しに伴い、小・中学校と同様に、さいたま市立特別支援学校管理規則の一部改正をするものです。
なお、施行期日は公布の日となります。
説明は以上となります。御審議の程、よろしくお願いいたします。

高校教育課長　　　それでは、議案第６１号、さいたま市立高等学校通則の一部を改正する規則の制定について、議案第６２号、さいたま市立中等教育学校管理規則の一部を改正する規則の制定について御説明させていただきます。
お手元の議案書の２０ページ、及び２５ページの提案理由を御覧ください。この議案の提案理由でございますが、卒業証書における押印見直しに伴い、小・中学校、特別支援学校と同様に、さいたま市立高等学校通則、及びさいたま市立中等教育学校管理規則の一部改正をするものです。
なお、施行期日は公布の日となります。
説明は以上でございます。御審議の程、よろしくお願いいたします。

竹居教育長　　　　何かありますか。

大谷委員　　　　　割り印は何のために押印していたのでしょうか。

竹居教育長　　　　　卒業証書と卒業名簿とを合わせて、そこに割り印を押印しております。片方は卒業証書として授与し、もう片方は学校に残るといった形になりますので、真正性の確保、という意味になります。

竹居教育長　　　　　割り印を押印するというのは、教育委員会のみで行われているものでしょうか。市長部局ではいかがでしょうか。

教育総務課長　　　　割り印は高等看護学校の卒業証書にもございますが、同様に廃止を検討すると聞いております。

竹居教育長　　　　　市長部局と合わせ、割り印を廃止するということですね。

竹居教育長　　　　　それでは、議案第６０号については、原案のとおりとしてよろしいですか。

各委員　　　　　　　＜異議なし＞

竹居教育長　　　　　出席委員全員の賛成により、議案第６０号は原案のとおり可決されました。
　続いて、議案第６１号については、原案のとおりとしてよろしいですか。

各委員　　　　　　　＜異議なし＞

竹居教育長　　　　　出席委員全員の賛成により、議案第６１号は原案のとおり可決されました。
　続いて、議案第６２号については、原案のとおりとしてよろしいですか。

各委員　　　　　　　＜異議なし＞

竹居教育長　　　　　出席委員全員の賛成により、議案第６２号は原案のとおり可決されました。
　ここで事務局の入替えを行います。準備ができ次第、再開いたします。

議案第６３号　令和７年度当初さいたま市立学校教職員人事異動の方針について

竹居教育長　　　　　それでは再開いたします。議案第６３号について、事務局から説明をお願いします。

教職員人事課長　　　議案第６３号「令和７年度当初さいたま市立学校教職員人事異動の方針について」、議案書の２６ページから２８ページにより御説明申し上げます。２８ページを御覧ください。

人事異動方針につきましては、これまで委員の皆様から御意見をいただきながら、本市の現状を踏まえ、整理してまいりました。今年度も、引き続き「教育委員会が全市的な視野等から異動が適切と考えれば、異動させること」を念頭に置き、適切に実施してまいりたいと考えております。

それでは説明いたします。

リード文でございますが、昨年度同様「第２期さいたま市教育振興基本計画」の具現化を目指すこと、「児童生徒が生き生きと学校生活を送り、学校教育に対する市民の期待に応える」ことを、明記しました。

リード文に続き、具体の方針が６項目ございます。

１項目目でございますが、人事の一番の基本である「各学校の気風の刷新」と「組織の充実と活性化」をあげ、各学校の課題解決や校長の経営理念の実現に向け、教育委員会の権限で「適材を適時に適所に配置する」という方針でございます。

２項目目でございますが、教職員組織に学校間格差が生じないよう、全市的な視野で、各学校の課題に応じた人事異動を行い、教育の機会均等を図るという方針でございます。

３項目目でございますが、「各学校の教職員構成の適正化に配慮する」ために、例えば、一度に多数の教員が異動して、その学校の教育活動の継続性が保たれない、あるいはよき伝統が継承されないなどということがないよう、長期的な展望をもち、各学校の特色や教職員の職務経験等を考慮し、計画的に異動を行うという方針でございます。

４項目目でございますが、校種間の人事異動について、小・中・高等・中等教育・特別支援学校の特色を相互に理解し、専門性や系統性を踏まえた教育の充実を図ることで、１２年間の学びの連続性を強化するため、より積極的に推進するという方針でございます。

５項目目は、「人事交流」「県との人事異動」に関する方針でございます。令和７年度も、国立大学法人埼玉大学附属学校、東京学芸大学附属学校、川口市立高等学校、川越市立川越高等学校との人事交流を実施いたします。また、埼玉県内の市町村学校及び県立学校との人事異動を実施いたします。

なお、これらについては、関係機関と協議の上、実施をいたします。
６項目目でございますが、自然体験活動の充実を図るため、令和７年度当初人事異動に合わせて、適材を公募により舘岩少年自然の家に配置いたします。
説明は以上となります。御審議よろしくお願い申し上げます。

竹居教育長　何かありますか。

大谷委員　要望になりますが、５項目目で、埼玉大学附属学校への派遣とございますが、そこへ派遣された方の経験を他の方にも伝え、活かしていただきたい。また、派遣された方には、今後のキャリアの中で何かプラスになるようなことがあると良いのではないかと思いました。

教職員人事課長　各学校長や埼玉大学附属学校にもヒアリングを行いながら、派遣教員について適材適所の人事配置ができるよう考えてまいります。

竹居教育長　大谷委員から、派遣された方の経験をどのように伝えるか、というお話がありましたが、指導主事・管理主事でそのノウハウを有している方、管理職として当時のネットワークを駆使して講師を招聘するという例もございまして、派遣を通じて得た学びが役立っているものと考えております。また、本人の資質・能力が向上することで、今後のキャリアにも活かされ、様々な場所で活躍していただきたいと考えております。

堀田委員　さいたま市から埼大附属学校への派遣について御協力をいただいており、大変感謝しております。
派遣される教員の方々は、各教科の授業力を伸ばすだけでなく、地域貢献も含めて研究開発を進めていただき、それをさいたま市の学校に戻って活かしたいと強く望んでいらっしゃいます。今後も両者で協力し合いながら、お互いにレベルアップしていければと考えております。
本方針については、これまでも議論がされてきたものと認識しております。令和７年度に向けて変更した点がございましたらお願いします。

教職員人事課長　本方針については、令和６年度と概ね変わっておりません。運用については、令和５年度当初の人事異動の際に、同一校３年以上及び経験を積んだ７年以上の方を異動対象としておりましたが、そこ

に、３校以上の経験がある方は１０年以上の方を異動対象とする、と変更いたしました。

大谷委員　３校以上の先生方は１０年経験して初めて異動対象になるということでしょうか。

教職員人事課長　異動希望がない場合、異動対象となるのは同一校３年以上の方でございます。
採用後３校目以降の方は１０年以内に異動させる、採用後２校目の方は７年以内に異動させる、という運用にしております。

学校教育部長　結論として、同一校３年以上の職員はすべて異動対象になります。ただ、複数校経験している職員もおりますので、目安として、３校目以降は１０年以内、２校目なら７年以内に、それぞれ異動させる運用としているところでございます。また、校長の意向をしっかりと受け止め、異動対象者を決めております。

竹居教育長　それでは、議案第６３号については、原案のとおりとしてよろしいですか。

各委員　＜異議なし＞

竹居教育長　出席委員全員の賛成により、議案第６３号は原案のとおり可決されました。
ここで事務局の入替えを行います。準備ができ次第、再開いたします。

議案第６６号　令和７年度使用さいたま市立高等学校、中等教育学校（後期課程）用教科用図書の採択について

竹居教育長　それでは再開いたします。議案第６６号について、事務局から説明をお願いします。

高校教育課長　それでは、議案第６６号「令和７年度使用さいたま市立高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書の採択について」御説明いたします。
まず、提案理由でございます。資料２の６５ページ（１）教科用図書の定義、（２）教科書の使用義務にありますとおり、高等学校及び中等教育学校の後期課程の教育課程に位置づけられる各教科・科

目の教授においては、教科用図書の使用が義務付けられております。各校の教育課程は１０６から１２３ページの資料３のとおりです。学校の特色に応じた教育課程を編成しております。高等学校及び中等教育学校の４校が使用する教科書につきましては、教科書の採択権者である教育委員会が、年度毎、学校毎に教科書を採択することとなっておることから、議案として提出するものです。この採択に係る関係法令は、お手元の資料２の６５ページ、（４）採択の権限、（５）採択についてのとおりでございます。

　議案提出に至るまでの流れを御説明致します。資料２の６６ページ、２さいたま市立高等学校・中等教育学校（後期課程）の教科書採択の仕組みとスケジュールを御覧ください。まず、４校では、５月から７月までの期間、校長を委員長とする教科書選定委員会を設置しまして、調査・研究を綿密に実施し、各校の特色や生徒の実態に即した教科書を選定いたしました。選定の詳細は、資料１の１ページからが浦和高等学校、１７ページから浦和南高等学校、３３ページから大宮北高等学校、４９ページから大宮国際中等教育学校（後期課程）となっております。

　採択に向けましての説明を、この後、４校の校長から頂きます。御説明の順番は、浦和高校、浦和南高校、大宮北高校、大宮国際中等教育学校の順でよろしいでしょうか。

竹居教育長　　はい、結構です。それでは学校ごとに採決を行います。まず、浦和高等学校長より説明をお願いいたします。

浦和高等学校長　　お手元の資料１の１から１６ページまでが、本校の資料となります。

　はじめに、２ページの令和７年度使用教科書選定方針を御覧ください。本校では、教育理念や教育目標を踏まえまして、「生徒一人一人の能力や個性の伸長を図り、高い進学希望を叶える教育課程を編成して授業を展開」しております。このことを踏まえまして選定方針を作成した上で、本校生徒の学習に相応しい教科書を選ぶという視点で採択業務を進めました。続きまして、３から５ページが令和７年度使用教科書選定一覧表、６から１５ページが令和７年度使用教科書選定理由書になります。

　新規に選定した教科書は２冊となり、１冊目は令和７年度新たに入学する１年次の歴史総合、２冊目は令和６年度入学の現１年生が来年度２年次に使用する地学基礎となります。その他の教科書はすべて継続とし、１年は１７冊、２年は１８冊、３年は１３冊、合計４８冊の教科書が選定対象となります。

続けて、選定の手続きを御説明いたします。１６ページの令和７年度使用教科書選定概要報告書を御覧ください。新学習指導要領に則った上で、１の学校教育目標及び２の目指す学校像を踏まえ、３の教科書選定委員会を組織し、選定を進めました。教科書選定委員には教科書等の執筆に携わっている教職員は任命していないことを申し添えます。

選定の経過ですが、４にございますとおりに、教科書選定の方針を職員会議で校長から全教職員に周知し、各教科から提出された選定案及び選定理由を確認し、校長決裁を経て、議案書のとおり提出させていただいたところです。

決裁に当たりましては、市立浦和の校長として、本校生徒の学力向上に役立ち、大学入試にも対応できるもの、特に本校にふさわしい高いレベルの学習活動に適しているかどうかを重視し、判断いたしました。

なお、新教育課程の年次進行に伴い、本校では高校からの入学生「高入生」のみ文系・理系選択としていたものを、中高一貫教育による内部進学生「内進生」にも導入し、生徒のニーズに応じた科目選択ができるようにしております。また、生徒同士の学び合いを深めるため、高入生、内進生の別なく、すべて同じ教科書を選定することとしております。

ここで、新規に選定した歴史総合、地学基礎について、御説明いたします。

まず、１年次に使用する歴史総合の教科書は、帝国書院の「明解歴史総合」７０６と致しました。豊富な絵画と写真資料が掲載され、部と章、見開きの構成に工夫があり、課題解決型学習に対応していることから、１２点の教科書の中から選定いたしました。

次に、２年次に使用する地学基礎の教科書は、数研出版の「高等学校　地学基礎」７０４としました。生徒が主体的に探究できる実験や実習が多く扱われていることや、二次元コードによりタブレットを用いて重要な図などを瞬時に見られることから、知識が習得しやすく、自主的に学習を進めることが期待できるとして、５点の教科書の中から選定いたしました。他の教科書についても、本校の生徒の学びにふさわしいかどうかを、再度、慎重に検討し、引き続き使用して参りたいと存じます。

私からの説明は以上です。採択に向けた、御審議をお願いいたします。

竹居教育長　　何かありますか。

堀田委員　　　　　新規に変更した歴史総合と地学基礎について、校内で議論になった点がございましたらお伺いいたします。

浦和高等学校長　　共通テストにおいて、教科「情報」が新たに設けられましたので、生徒への負担感については、教科、また授業時間等を踏まえ、全体として検討した部分になります。

堀田委員　　　　　各教科書の選定にあたっては、割とスムーズに決まったという理解でよろしいでしょうか。

浦和高等学校長　　校内で大きく議論になったということはございませんでした。

石田委員　　　　　地学基礎について、浦和南高校と大宮国際中等教育学校は啓林館を選定していますが、浦和高校が選定した数研出版の４０ページには、地震について詳細に載っており、非常に良いと思いました。

大谷委員　　　　　先ほど、学力向上や進学実績についてのお話がありました。そうした観点から選定した教科書で、特にこれは、というものがありましたらお伺いいたします。また、内進生と同一の教科書とのことでしたが、単元を前倒しで学習している内進生には、教育課程を別に設定し、高入生とは別の教科書を選定するという選択肢もあったかと思いますが、この点についてはいかがでしょうか。

浦和高等学校長　　本校の生徒の特色を活かした教科書選定ということで、大学入試に備える観点及び思考・判断力を育てる観点から、国語については、思考・判断力を養う内容となっており、生徒の進路指導に役立つものということで選定いたしました。数学については、基本的な問いや例題だけでなく、応用的な問いや例題もあり、生徒のレベルに合っているという点、理科については、本文の記載内容が大学入試問題を解くにあたり十分なレベルであるという点から選定いたしました。

もう１点、内進生と高入生の教育課程を別に設けるべきか、という点ですが、新学習指導要領の導入にあたり、両者の共通化を図ってまいりました。理由として、内進生では文系でも３年生になって理系科目を選択できるような幅広い教育課程となっておりましたが、学習指導に系統性を持たせるために教育課程を揃える動きとなりました。また、教科「情報」が共通テストに追加されたため、従前の５教科７科目型から、６教科８科目型への移行が進んできた中で、生徒への負担感を払拭したいということ、高入生が内進生の学力に迫ってきている内情も踏まえ、生徒がお互いに学び合える環境を担保するために、教

科書を共通化することが有効であるという校内議論のもと、このような動きになっております。

大谷委員　　単元を先んじて学習していた内進生が高入生に合わせるというのは、ともすれば内進生の学力を伸ばす機会を逸してしまうことにはならないかという懸念があるのですが、この点はいかがでしょうか。

浦和高等学校長　　現在、２学年の教科書を１学年で学習しているものが複数ございます。数学では１年で数Ⅱを、２年で数Ⅲを先取りして学習します。化学では、化学基礎を年度途中から化学へ移行できるように授業を前倒しで実施しております。英語でも同様に、コミュニケーション英語と論理表現について、２・３年次で順次前倒しで授業を実施しております。内進生が高入生に合わせてペースを落とすのではなく、高入生が内進生に合わせて、進んだ内容を学習する形になっております。

竹居教育長　　それでは、浦和高等学校の教科書について、原案のとおり採択してよろしいでしょうか。

各委員　　＜異議なし＞

竹居教育長　　ありがとうございます。続いて、浦和南高等学校の説明をお願いいたします。

浦和南高等学校長　　お手元の資料１の１７から３２ページが、本校の資料でございます。

本校の教科書選定の経緯について、説明させていただきます。

はじめに、１８ページの令和７年度使用教科書選定方針を御覧ください。本校の学校教育目標の達成に向け、確かな学力の定着や大学進学のための実力錬成のために記述や資料などが生徒に理解しやすいものであるとともに、導入や題材、論の工夫がなされ、効果的な内容になっていることを重視し、本校の生徒の学習に相応しい教科書を選定する視点で取り組みました。

１９から２０ページまでが令和７年度使用教科書選定一覧表、２１から３０ページまでが令和７年度使用教科書選定理由書でございます。

新規教科書を１冊、継続で４６冊の教科書を選定いたしました。

３１ページの使用教科書選定概要報告書を御覧ください。中段の３にございます教科書選定委員会を組織し、選定方針を伝え、各教科か

らの原案に基づき、選定理由の確認を行い、校長の責任の下、選定案の決裁をいたしました。
　なお、教科書選定委員会に教科書等の執筆に係る教員はおりません。
　新規に選定いたしました音楽Ⅱ、継続して選定いたしました公共を例に御説明いたします。
　まず、音楽Ⅱにつきましては、２７ページの１段目を御覧ください。４点の教科書の中から教育芸術社の「ＭＯＵＳＡ２」を選定しております。２年次生選択者が使用することになります。今年度まで、１年次に教育芸術社の「ＭＯＵＳＡ１」、２年次に教育出版の「音楽Ⅱ　Tutti+」を使用していますが、令和７年度から、１年次に教育芸術社の「ＭＯＵＳＡ１」を継続して使用し、２年次に教育芸術社の「ＭＯＵＳＡ２」を新規に使用することにより、１年次からの継続性があり、音楽についての理解を深め、音楽表現を工夫し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むことができる教材を採用しています。また、デジタルコンテンツも活用し、音楽文化の視野を広げることができるため、新規に選定しました。
　次に、公共につきましては、２３ページ３段目を御覧ください。１２点の教科書の中から帝国書院「高等学校 公共」を引き続き選定いたしました。新課程の公民科で３年目の科目になります。本校では2年次生全員が使用いたします。教科書の大きさがワイドなＡＢ判であり、図版や写真、コラム、補足解説が数多く掲載されています。また、章や節ごとの特設ページが充実しており、授業の中で協働的・探究的な活動を取り入れやすくなっております。そして成年年齢が１８歳になったことも踏まえ、契約時の注意点や消費者保護法制について具体的な場面を用いて詳しく扱っています。
　他の教科につきましても、審議を重ね、校長決裁により提出させていただきました。採択に向けて御審議をお願いいたします。

竹居教育長　何かありますか。

大谷委員　浦和南高校においても、生徒や保護者から大学進学実績というものがますます求められていると思いますが、それを踏まえた教科書の選定を行っているものがありましたらお示しください。また、教育課程を見ると、他校に見られないほど家庭科が非常に充実しています。保育基礎、ファッション造形基礎、フードデザインなど、専門学校を思わせるような内容です。この辺りについて、校長先生のお考えをお聞かせください。

浦和南高等学校長　本校の進学実績向上に向けた取組ということで、例をお示しします。英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲで使用する桐原書店は、「聞く、話す、読む、書く」の４技能を万遍なく向上できる構成になっております。大学入試で外部検定を利用する場合、主に英検を利用しますが、英検取得及びＣＳＥスコアを上げるために非常に効果的な教科書を使用しております。本校では海外研修を行っておりますが、海外に行くにあたり、４技能は不可欠です。４技能を普段の授業から伸ばすための教科書ということで御紹介いたしました。

続いて、家庭科についてです。本校には家政系、栄養系への進学を希望する生徒がいるため、進路実現に向けた多様な選択科目を設置し、実習等も行いながら進路実現のための教科指導を行っているところでございます。

石田委員　今お話のあった英語コミュニケーションの教科書を見ましたが、なまはげの話やＳＤＧｓについても掲載されており、非常に良いと思いました。音楽について、新規に教育芸術社を選定しておりますが、以前から１年の教科書が教育芸術社でしたので、２年でも揃えるのは良いことと思います。この辺りはいかがでしょうか。

浦和南高等学校長　教科書選定委員会の中では、同じ教科書会社であり、特に意見等はありませんでした。今回選定した教科書が変わったのは、音楽の担当教員が退職し、新たな教員が着任したことで見直しを行ったためです。

堀田委員　美術ではなく工芸の教科書を使用している理由について教えてください。

浦和南高等学校長　本校は工芸室の設備が充実しております。また、専門の教員もおり、本校の特色の一つとしております。

竹居教育長　来年度の受験生向けパンフレットを刷新し、進路重視型単位制についてしっかりと掲載されております。今後力を入れていく部分について、今回の選定にあたり議論を深めた点があればお願いいたします。

浦和南高等学校長　教科書選定からは離れてしまいますが、本校３年生は選択の幅を広げております。生徒の第一希望に合わせた科目が選択できるような教育課程を設置しているところでございます。

竹居教育長　　それでは、浦和南高等学校の教科書について、原案のとおり採択してよろしいでしょうか。

各委員　　＜異議なし＞

竹居教育長　　ありがとうございます。続いて、大宮北高等学校の説明をお願いいたします。

大宮北高等学校長　　お手元の資料１の３３から４８ページが、本校の資料でございます。

まずは、資料３４ページをお開きください。選定方針２、３にございますように、生徒の「生きる力」を育み、生涯にわたって社会に貢献できる人材の育成を実現するため、個々の能力の伸長、確かな学力の定着を図ることのできる教科書であること、また大学進学にも対応できる教科書であることを重視しております。そして、３７ページからございますとおり、新規を３冊、継続で４１冊の教科書を選定いたしました。

本校は普通科、理数科の併置校でございます。また、スーパーサイエンスハイスクールとして、探究活動のベースとなる教科科目の知識・技能の定着はもちろんのこと、リベラルアーツ的な視点を重視し、普通科は１、２年生で文理選択を行っておりません。未来を生き抜く子どもたちに、幅広い分野の素養の修得、そして、能力の向上を目指してカリキュラムを編成しております。

具体的に、教科書の選定につきまして、御説明申し上げます。例えば、数学につきましては、４０ページ下段から４２ページ上段までを御覧ください。すべての学年において、数研出版を選定しました。これは、デジタル教科書との親和性が高く、視覚的に理解しやすいこと、図の色などが使い分けされていて見やすいことが挙げられます。さらに例題や練習問題の数値がよく練られており、生徒の進路実現に向けた教科書であると思います。

最後に、資料４８ページをお開きください。教科書選定委員会を４選定の経過のように開催いたしました。選定方針を伝え、各教科からの原案に基づき、選定理由の確認を行い、教科書等の執筆に係る教員は任命していないことを確認しております。校内で審議を重ね、校長決裁により、議案書のとおり提出させていただきました。採択に向け、御審議をお願いいたします。

竹居教育長　　何かありますか。

堀田委員　　　　　新規で論理・表現Ⅰ・Ⅱを選定していますが、特段の理由がございましたらお伺いいたします。

大宮北高等学校長　　本校はＳＳＨを採択されており、その中でもグローバルプログラムの推進を図っております。また、進路実現に向けた大学入試の長文やリスニング対策も考えております。このような点を踏まえ、新規で選定を行いました。理由といたしまして、サイエンス、気候変動、リサイクル、ＳＤＧｓ、世界のお祭りなど、生徒の関心を引く時事的な内容が充実しており、写真やグラフから生徒の理解促進、意欲向上が図られるためでございます。

大谷委員　　　　　普通科と理数科で同一の教科書を選定している点について、また、理数科で特に数学のカリキュラムを前倒しで行っているかどうかについてもお伺いします。

大宮北高等学校長　　理数科では、３年生の１学期までに数Ⅲ・Ｃが終わりますので、前倒しで学習を行います。ただ、普通科と理数科の生徒で部活動などの教育活動は同じであることから、学んだ内容をお互いに議論するなどの相乗効果を生み出せるように同一の教科書を使用しているところでございます。

大谷委員　　　　　普通科の生徒は、数学について前倒しは行わないのでしょうか。

大宮北高等学校長　　普通科の生徒は、数Ⅲ・Ｃを２学期末までしっかりと学習します。問題演習の進め方や単位数で違いが出るものでございます。

竹居教育長　　　　選定委員会にネイティブ教員が参加しており、英語に力を入れていくという心意気が見えます。英語の教科書選定にあたり、大宮北高等学校ならではの議論などはありましたでしょうか。

大宮北高等学校長　　探求的な学びに関する内容、特にスキルやコンピテンシーベースの学びを深め、どのように生徒の学力を育成するか、といった議論がございました。また、プロジェクトベースで学びを行う学校設定教科「ベストクラス」があり、各教科とどのように連動していくのかという議論もあり、このような議論は、本校の探求的な学びを推し進めるものと実感しております。

竹居教育長　　　　それでは、大宮北高等学校の教科書について、原案のとおり採択してよろしいでしょうか。

各委員　　　　　　＜異議なし＞

竹居教育長　　　　ありがとうございます。続いて、大宮国際中等教育学校の説明をお願いいたします。

大宮国際中等教育学校長　　お手元の資料１の５０ページの選定方針を御覧ください。４点挙げましたが、特に本校の特徴を踏まえた２点目と３点目がポイントです。

本校は国際バカロレア認定校として、また全生徒が６年一貫教育を受ける中等教育学校として、それにふさわしい探究的で課題解決型の学習活動を展開し、本校の学校教育目標を達成する一助とするべき教科書を選ぶ視点で選定いたしました。５１から５２ページが使用教科書選定一覧、５３から６１ページが選定理由になります。今回選定した教科書は１０教科４３冊になります。

なお、本校では高校の「情報Ⅰ」を３年生と４年生で分割履修しているため、その教科書は３年生での早期購入になり、既に８月１日に開催されました臨時会議において採択いただきましたが、今回の選定教科書にも含めてあります。６２から６３ページの選定概要報告書に記しましたように、校内で教科書選定委員会を組織し、選定いたしました。教科書等の執筆に携わっている教職員は選定委員に任命しておりません。そして、４の選定の経過にありますように、教科書選定の方針を教科書選定委員会で周知し、各教科から提出された選定案及び選定理由を確認し、校長の責任の下、選定案を決裁いたしました。ここでは、昨年度から変更した２冊の教科書を例に挙げて御説明いたします。

一つ目は国語表現でございます。これまでの採択において、高い評価をいただいた科目であり教科書でありました。

しかしながら、本校における各教科の学習活動では、国語科に限らず常にアウトプットを求めており、英語科を除く全ての教科で前期課程の１年生から、母語による表現活動が活発に行われております。そのために後期課程の５年生にもなると、母語による表現には長けており、５年生の必修科目として国語表現を置くのは発展性に欠け、メリットが少ないことが分かりました。

そこで来年度からは、国語表現を更にレベルの高い「話す」「書く」活動を重視する選択科目として行っていくこととし、教科書を２者２種類のうち大修館から東京書籍に変更することといたしました。

選定理由の１に「国語表現において重要な「コミュニケーション」について具体的に説明されている。」と記しましたように、例えば１

０ページには、多様化した現代社会におけるコミュニケーションの重要性が書かれています。日本国内の「分かり合う文化」と多様な価値観の中で必要となる「説明し合う文化」という考え方を示されたものです。何を何のために、どのように表現するのかを学ぶための教科書として、新たに発行された東京書籍を選定いたしました。また、選定理由の３「論理的な文章を書くためのアドバイスが豊富である。」という点、そして４「広告・ＰＲの表現について、様々な例を用いて分析することが可能である。」という点について、現行の大修館より優れていると考えています。

昨年度から変更した教科書の二つ目は歴史総合でございます。
今回選定いたしました東京書籍の「詳解歴史総合」は、選定理由１に「「テーマ全体の問い」から始まり、構成的に問いが設定されている。」と記しましたように本校の探究的な授業の進め方と合わせやすい形になっております。そして、歴史総合として、日本史と世界史を別物として扱わず、総合的に扱っている点が優れていると考えました。例えば、７０・７１ページで立憲制の始まりについて、ヨーロッパとアジアが総合的に表記されておりますが、昨年度までの山川出版社では、４４ページから世界の国民国家について、４８ページから日本の国民国家について、と分けられております。

「教科書を学ぶ」のではなく、教科書を起点に学ぶ形になっている東京書籍の「詳解歴史総合」が、本校の探究的な学習には適していると考えた次第です。

他の教科・科目におきましても、本校の目指す探究型の授業を実践するという方向性と、それを支える理念に恥じるまいとの思いで、すべての教科書について校内で審議し、校長決裁により、議案書の通り提出させていただいたところです。

なお、ＤＰ（ディプロマ・プログラム）の履修においては、多くの教科・領域を学校設定科目としているため、教科書採択の対象となっておりません。また、学習指導要領に定める教科・科目の読み替えとする場合でも、検定教科書の使用は要さない、つまり教科書採択は要さないことを、高校教育課から文部科学省の所管課に確認済みでございます。

私からの説明は以上です。採択に向けた御審議をお願いいたします。

竹居教育長　　何かありますか。

石田委員　　国語表現の東京書籍の教科書は昨年度から変更し、より実用的になったと思います。他校では採用しておりませんが、この辺りはいかがでしょうか。

大宮国際中等教育学校長　　これまで使用していた大修館書店は、新学習指導要領になってから１者１冊しかありませんでした。実際に使用してみて、前半部分が極めて基本的な内容であるなど、本校に合わないと考えました。また、東京書籍の冒頭にある、劇作家の平田オリザさんのコラムを見て、これこそが高校で国語表現を学ぶ意義だと感じ、選定いたしました。ただ、大学入試の科目も増えている中で、必修科目とするのは難しいということもあり、他校では採用されていないものと考えます。

石田委員　　英語コミュニケーションは新興出版社啓林館を選定しておりますが、情報量が多い等の理由があるのでしょうか。

大宮国際中等教育学校長　　副読本として、洋書が使用されているなど、全体の分量やトピックを補うものとして活用しております。

石田委員　　情報について、Ⅰは東京書籍、Ⅱは日本文教出版を選定しておりますが、別の教科書にした理由をお聞かせください。

大宮国際中等教育学校長　　本校の教育課程では中学３年生から前倒しで学習するため、Ⅰは入門として分かりやすい東京書籍を選定しております。ただ、Ⅱを選択している生徒は極めて少なく、スキルに長けた生徒向けとして日本文教出版を選定しております。

石田委員　　理数探求についても新規で教科書を選定しておりまして、生徒の探求をサポートし、成果を求めるには大変良いと思いました。

大谷委員　　ＩＢ（国際バカロレア）認定校ではありますが、一部の生徒のみがＩＢ選択ということで、教科書選定に関して御苦労なさっている点はありますでしょうか。

大宮国際中等教育学校長　　一部の生徒のみという点について補足をいたしますと、ＤＰを選択しているのが一期生１９名という状況でございまして、一方で、１年生から４年生までのＭＹＰは、全生徒がＩＢの学習プログラムに従って学習を行っております。

ＭＹＰの学習は実に探求的であり、教科書選定にあたっても、いかに探求的な学習、課題解決型の学習ができるかという視点で選定でき

ており、この点において苦労はございません。ＤＰについては、必ずしも検定教科書を使う必要がなく、例えば数学の授業は全て英語で行うなど、教科書は使用しておりませんので、こちらも苦労はございません。

竹居教育長　　それでは、大宮国際中等教育学校の教科書について、原案のとおり採択してよろしいでしょうか。

各委員　　＜異議なし＞

竹居教育長　　出席委員全員の賛成により、議案第６６号は原案のとおり可決されました。

ここで事務局の入替を行います。準備ができ次第、再開いたします。

傍聴の方に申し上げます。先ほど決まりましたとおり、ここからの審議につきましては非公開となりますので、御退室をお願いいいたします。

報告第６号　令和５年度さいたま市一般会計歳入・歳出決算（教育費）について

竹居教育長　　それでは再開いたします。報告第６号について事務局から説明をお願いします。

教育財務課長　　それでは資料の１ページをお開きください。

報告第６号、令和５年度さいたま市一般会計歳入・歳出決算（教育費）について、御説明します。

２ページをお願いします。この表が、教育委員会に係る令和５年度歳入・歳出決算の状況となっております。

なお、決算額等を読み上げる際は、千円未満を切り上げ、千円単位としますので御了承ください。

まず、上段、歳入の表の一番下の行、局合計の欄を御覧ください。教育委員会全体で当初予算額が１５０億８，５２３万５千円、それに隣の補正予算額とその隣の前年度からの繰越事業の財源である、繰越財源充当額を加えた、最終の予算現額は１６３億９，１１５万２千円となりました。

予算額が見込に基づき積算した金額であるのに対し、実際に収入すべきものとして決定した額、これを調定額と呼んでおりますが、調定額は教育委員会全体で１６２億1,１３６万６千円、そのうち実際に納入された金額、収入済額が網掛けとなっている１５７億９７

３万３千円です。この収入済額がいわゆる教育委員会の歳入の決算額となります。

歳入の中で一番収入済額が大きいのは表の上から３行目、１８款の国庫支出金で決算額の約９６％、収入済額は１５０億８３３万８千円となりました。

続きまして、右から２番目の列、不納欠損額ですが、これはすでに調定した歳入が、督促等を行ったにも関わらず納付されずに時効が到来してしまった場合や、法令等に基づいて債務を免除した場合などについて、損失として処分を行った額をいい、令和５年度は３万円生じました。

具体的に説明します。令和３年度中に物品納入契約（印刷製本）を行った相手方（有限会社武州印刷）が、契約締結後に契約解除を行い、違約金が発生しました。その相手方が破産手続きを開始したことにより、違約金が収入未済のままになっていたものを、令和５年度中に、収納対策課と債権放棄に係る協議を行い、協議の結果、債権放棄が妥当と認められたため、債権放棄の手続きを経て、不能欠損としたものでございます。

続きまして、一番右側の列が収入すべき金額として調定を行ったものの、年度内に収入できなかった金額、これを収入未済額と言いますが、教育委員会全体で５億１６０万４千円生じております。収入未済額のうち約９８％を占めているのは１８款の国庫支出金ですが、これは国の補助事業が年度内に完了しなかったことに伴い、国庫補助金を繰越処理したもので、事業の進捗に合わせ、翌年度以降に収入される予定です。

次に歳出について説明申し上げます。ページの中ほど、歳出の表を御覧ください。こちらが職員人件費を除く教育費全体の決算状況となります。９月定例会において市長から市議会に提出される、さいたま市行政報告書の各局の決算概要が、職員人件費を除く形で作成されるため、同様の形で報告するものでございます。

令和５年度の当初予算額は、４２６億8,５３０万４千円であり、それに補正予算額、前年度からの繰越額、そして、流・充用額を加えた左から５つ目にあります４８９億4,４８１万７千円が最終予算現額となりました。

予算現額に対しまして実際に支出した支出済額の合計は、網掛けをしている右から３つ目の欄、４０６億1,３３０万１千円となっており、この支出済額が、教育委員会の人件費を除く令和５年度の歳出の決算額となります。

この令和５年度歳出決算額につきましては、こちらには記載はありませんが、前年度との比較で約７３億円の増となりました。

主な増減理由です。まず増加理由としては、小中学校の学校施設リフレッシュ事業の実施により約３５億円、舘岩少年自然の家中規模修繕工事の実施により約１５億円、老朽化した学校施設の改修等の実施により約１１億円、中学校体育館への空調機の新規整備校の増加により約６億円、学校給食用食材の物価高騰分に対する支援の実施により約４億円、教育データ可視化システムの設計・構築等、市立学校インターネット回線の強化、教育用オフィスライセンスにおけるＡ５ライセンスの導入等により約４億円、公民館施設リフレッシュ事業及びエレベーター設置により約３億円の増となりました。

減少理由としては、小中学校の光熱水費支払い額減の影響により約４億円、見沼通船堀（西縁）再整備工事の完了により約３億円の減となりました。

支出済額に対しまして、翌年度繰越額５１億８，１１０万５千円を除いた一番右側の数値３１億５,０４１万３千円が令和５年度予算に対して生じた不用額ということになります。

続きまして、３ページをお願いします。

令和５年度決算につきましては、９月定例会に決算書等を提出し議会の認定に付されることとなりますが、制度上事前に監査委員の審査を受ける必要があり、本年７月に監査事務局におきまして、決算審査が実施されました。

今回の決算審査において、新設大和田地区小学校整備事業、図書館を通じた生涯学習環境整備の推進、学校給食費公会計化事業の３事業を、令和５年度の「主な事業」として資料を提出いたしましたので、この３事業について提出した資料を用いて、御説明します。

まず、このページが学校施設整備課所管の「新設大和田地区小学校整備事業」となります。調書の上段１、事業の概要でございます。本事業は、大和田特定土地区画整理事業地内に確保されている学校用地を活用し、大砂土東小学校及び大谷小学校の過大規模状態を解消するために、新設校を建設し、令和８年４月に開校するものでございます。

次に中段２、事業の実施状況等でございます。令和５年度は、実施設計業務が完了し、各工事の契約手続きを行っている状況でございます。主な事業費内訳は、除草作業手数料３９０万５千円、構造計算適合判定手数料３１万８千円、実施設計業務委託料１億２，５７０万９千円、校庭整備実施設計業務委託料６８２万円でございます。

下段３、歳出予算執行状況でございます。令和５年度最終予算現額（A）の合計２億１，１５８万１千円に対し、支出済額（B）の

合計は、１億３,６７５万２千円、翌年度繰越額（C）の６，４４０万３千円を除いた不用額（D）の合計は１，０４２万７千円、執行率は６４.６％となりました。

次に資料の４ページを御覧ください。中央図書館資料サービス課所管の「図書館を通じた生涯学習環境整備の推進」でございます。

調書の上段１、事業の概要でございます。本事業は、市民が生涯にわたる学びを進めていける、質の高い生涯学習環境を実現し、また、地域とつながりの深い公民館と「地域の知の拠点」である図書館を連携させることで、人生１００年時代の学びを支えるものでございます。

次に中段２、事業の実施状況等でございます。令和５年度は、さいたま市図書館ビジョン（第２期）の基本理念に沿って、様々な取組や環境整備を行いました。具体的には、市民の読書ニーズや課題解決に対応するための幅広い資料の収集やバリアフリー資料を充実、各種データベースによる情報提供や電子書籍サービスの充実などでございます。

主な事業費内訳は、図書館資料の購入費１億５，１４４万９千円、子ども読書活動推進事業向け図書館資料購入費５７万６千円、マーク作成業務委託料２６６万７千円、オンラインデータベース等提供７８５万２千円でございます。

下段３、歳出予算執行状況でございます。

令和５年度最終予算現額（A）の合計１億６，７３５万５千円に対し、支出済額（B）の合計は、１億６,５０１万５千円、不用額（D）の合計は２３４万１千円で、執行率は９８.６％となりました。

次に５ページを御覧ください。

主な事業の３番目、おいしい給食サポート課（旧健康教育課）所管の「学校給食費公会計化事業」でございます。

調書の上段１、事業の概要でございます。本事業は、市立小中学校、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校において、各学校で徴収管理されている学校給食費を、さいたま市の歳入歳出予算とする公会計化を実施し、学校給食費の徴収管理及び未納者の債権管理を行うものでございます。

次に中段２、事業の実施状況等でございます。

令和５年度は、学校給食費徴収管理システムを導入することで、学校給食の喫食者約１１万人の口座振替を一斉処理にて行うことが可能になりました。また、滞納が発生した場合は、システムから対象者を抽出し、督促状の一斉送付だけでなく、納付相談の内容につ

いても記録保存できるため、遅滞なく効率的に手続きが進められるようになりました。
　主な事業費内訳は、保護者へのお知らせ等印刷製本費２５２万３千円、クラウド運用保守業務等委託料１，４０４万２千円、学校給食費徴収管理システム利用料等　８５万３千円でございます。
　下段３、歳出予算執行状況でございます。
　令和５年度の最終予算現額（A）の合計　３，３９５万５千円に対し、支出済額（B）の合計は　１，８３６万５千円、不用額（D）の合計は　１，５５９万円で、執行率は５４．１％となりました。
　私からの説明は以上でございます。

竹居教育長　　　何かありますか。

大谷委員　　　　議会での決算特別委員会に向けて、懸案事項はございますか。

副教育長　　　　決算特別委員会では、決算の数字だけを審査するのではなく、事業の行い方や考え方にまで話が及ぶことがございます。現状ですと、武蔵浦和地区の義務教育学校について、事業の進め方、地域住民への説明といった点については、繰り返し質問が出ております。決算の数字については、特に懸案事項はございません。

竹居教育長　　　それでは、この件については終了といたします。
　ここで事務局の入れ替えを行います。準備ができ次第再開いたします。

議案第６５号　さいたま市いじめのない学校づくり推進委員会調査専門員の委嘱について
　＜非公開案件につき内容は省略＞
　＜議案は原案どおり可決＞

竹居教育長　　　以上をもちまして、本日の教育委員会会議の議事を終了いたします。
これにて、教育委員会会議を閉会いたします。

９　閉　　　会　　　午後４時００分